

# た な か み 山

第 11 号  
発行  
桐生民具  
ク ラ ブ

## 滋賀県の石

山本文良

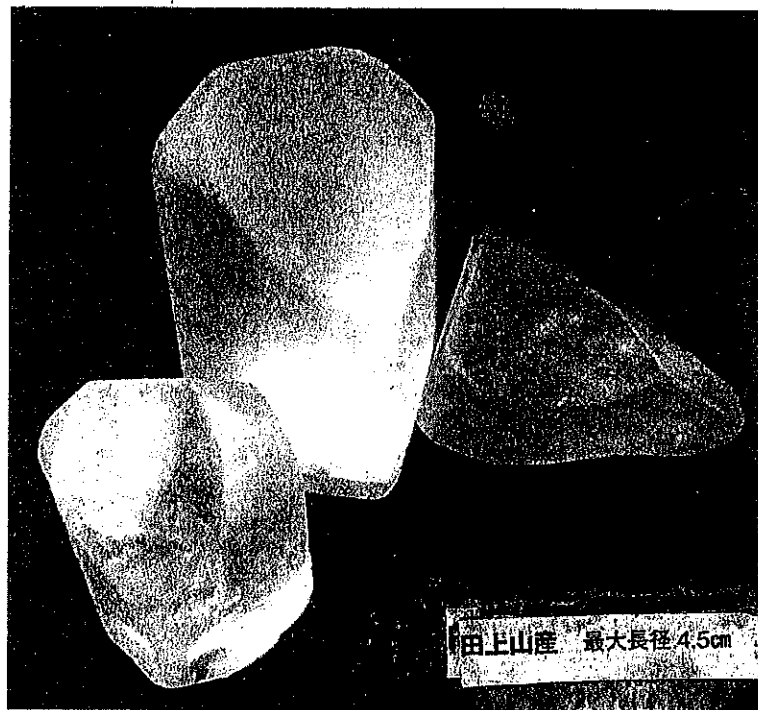
平成二十六年(二〇一四)  
「滋賀県の石」認定

- 一、大津市田上山のトパーズ
- 二、甲西町野洲川の象の足跡化石
- 三、安土・八幡の湖東流紋岩

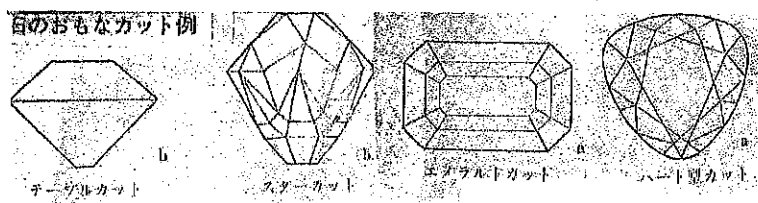
日本地質学会

一、田上山のトパーズ  
あっ！ 私達の故郷田上山のトパーズが県の三つの中の一番トップに。すごいすごい。万歳万歳と叫びたくなります。

今から約七〇〇万年前、滋賀県



▲ 田上山のトパーズ



一帯に激しい地震活動が起こり、田上・信楽方面に地中のマグマが上昇し冷えて固まり花崗岩ができたそうです。

明治時代に入ると十一年に当時の県令(知事)の籠手田安定の田上不動山一帯の土砂流出検分。その時トパーズの発見。

また、草津市北山田の木内石亭は子供の頃から奇岩怪石に興味を持ち、長じて田上山での調査採集。大阪での展示。雲根志の記述。東海道名所図会での紹介等で、田上山と共に一躍有名になり、後には外国人の人にも知られ持ち出されたそうです。

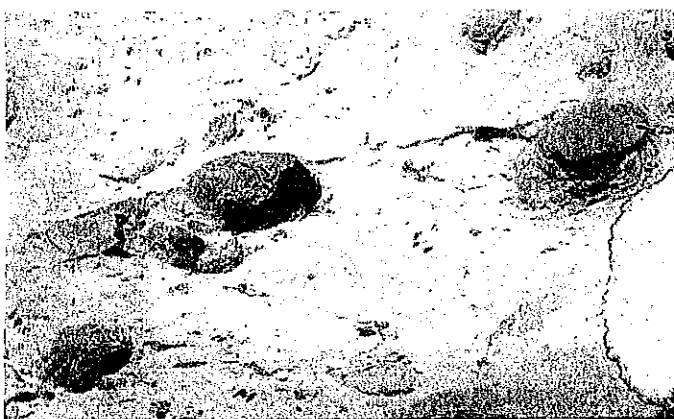
しかし、その後は余り発見採集されなかつたそうです。でも、最近湖西の高島市での発見採掘が始まったようです。

左上のトパーズ(黄玉)の写真をご覧ください。

特に田上山のトパーズは斜方柱状で八角の結晶をした美しく透明で最良と評価され、宝石として取引されています。十一月の誕生石もその一つです。

### 二、象の足跡化石

昭和六十二年(一九八八)八月の大雨の後に甲賀郡甲西町の野洲川の河床で象と偶蹄類の足跡が発見され



▲ 象の足跡化石

また、足跡のついた地層は、約二〇〇万年前の古琵琶湖層だったそうです。

この足跡化石の発見で今後の研究に役立つと期待されているとのこと。

写真のまるくて大きくへこんだ穴の方が足跡化石で、その他の小さいのは偶蹄類(イノシシ・シカ・ウシ・カモシカ)の足跡化石です。

時。あたかも本年度の全国高校野球選手権優勝戦に匹敵。前年度優勝校の投げた試合開始の第一球に対し、慶応の丸田君の痛烈猛反撃。ホームラン。会場五万の総立ち、驚きと

喜びの声・拍手鳴り止まずを思い出されます。あの光景は、誰も予想していなかった、否、できなかったに違いありません。

### 三、安土・八幡の流紋岩

田上山のトパーズと同じく約七〇〇万年前、滋賀県で大地震が起り、地下のマグマが地表に流出して冷えて固まり流紋岩が安土・八幡方面に生まれました。

### ◎近江盆地にあった火山のカルデラ

近江盆地は鈴鹿、比良、野坂、信楽の山地がぐるりを取り囲み、中央に湖東平野が広がるお盆のような形をしています。これらは、約五〇万年前に始まった六甲変動と呼ばれる地殻変動に伴ってできた地形です。

ところが、それより遙か昔、約七〇〇万年前の中生代白亜紀の時代にも、ほぼ同じ地域に大きな凹地が形成されていたことが分かっています。その当時の凹地は、近江盆地の成因とは異なり、火山活動に伴ってできたカルデラと呼ばれる凹地でした。

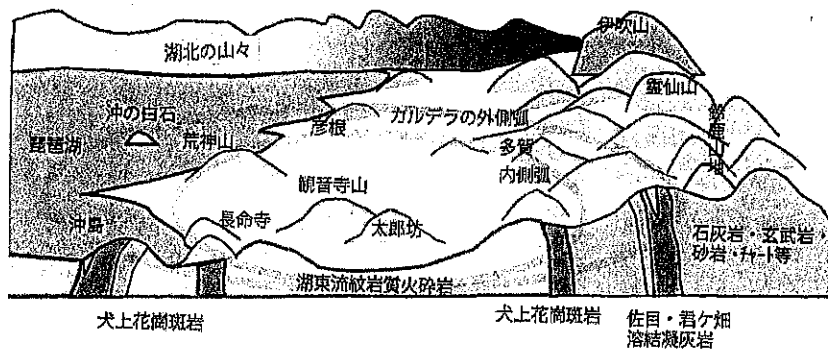
成因が異なるとはいえ、中央に平野などの低い地域が広がり、周辺の山々が取り巻くといった風景は同じだったと考えられます。

湖東平野を眺めて、噴火後に陥没した荒々しい火山の地形を想像してはいかがでしょうか。

### ◎湖東流紋岩は優れた石材

湖東流紋岩類は、石灰岩と違って硬く緻密で風化に強く、石垣や石造物などの石材として適した優れた石材です。

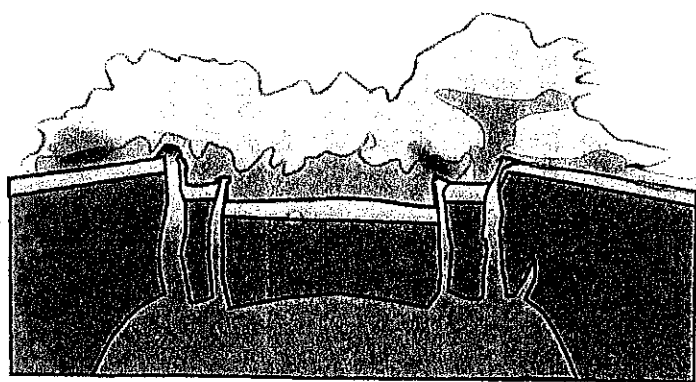
人々が石を利用する際に、その優れた石が暮らしに近い鈴鹿の山麓や平野の山々に分布していることは都合



湖東平野にカルデラを想い浮かべる

がよかったですでしょう。寛政四年（一七九二）の「淡海木間櫻」には、四手の犬上嘉花崗斑岩が石材として切り出されていたこと、さらに多賀大社造営には専らこの石を用いたことが記されています。

胡宮神社のご神体である青流山の麓に史跡敏満寺石仏谷墓跡があります。中世の墓地とされる一帯には多くの石材が持ち込まれています。調査により保管された約二〇〇点の石造物のうち八五%が湖東流紋岩を石材としています。



大規模噴火に伴う大火砕流が発生しカルデラが形成

石造物を作るための石は、湖東流紋岩類が広く分布する犬上川上流域を起源とするもので、手頃な大きさの川原の礫を選んで造られたと考えられています。

(三項のみ、引用)

### とんち小噺 『鯛焼き』

殿様 誰かおらぬか。

家来 はい、ここに控えております。

殿様 鯛が急に食べたくなかった。すぐ釣って参れ。

家来 魚屋はない、海は遠いし、困ったことになってきた。うん、よしと手を叩く。早速、こん

ろ、炭、めりけん粉、あんこ、鯛焼き器。

殿様 おい、まだか。

家来 はい、只今。あつ釣糸を忘れていた。

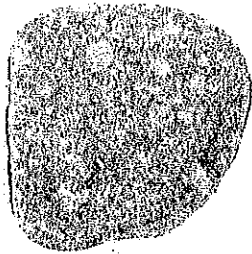
殿様 出来たか。早く持って参れ。

家来 少し熱うございます。お氣をつけて召し上がり下さいませ。

殿様 何じゃ、これは？

家来 鯛焼きで、今この通り釣って参りました。

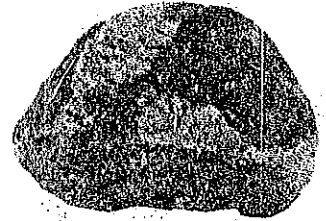
殿様 うーん、参ったぞ。うまい。まい。あっぱれじゃ。



湖東流紋岩 (秦荘  
石英斑岩)



湖東流紋岩 (八尾  
山火砕岩)



湖東流紋岩 (深谷岩層  
なだれ角礫岩)



### せめぎ会う水と岩

ゆったりと流れてきた犬上川が突然落差10m余りの瀧となつて流れ下る。兩岸の岩は湖東流紋岩。水は節理の割れ目を狙って岩を削る。



### 湖東流紋岩のうねり

7千万年の年月、湖東流紋岩は水との戦いを繰り広げてきた。その結果の地形が大蛇が淵。今も戦いは続き、さらに未来へと続く。

新聞・テレビで「親が幼児を車に乗せたまま出歩き死なせた。」と言う報道。人間までもおかしくなつて来ています。  
秋よ早く来い、早く来い。  
コスモスさん、

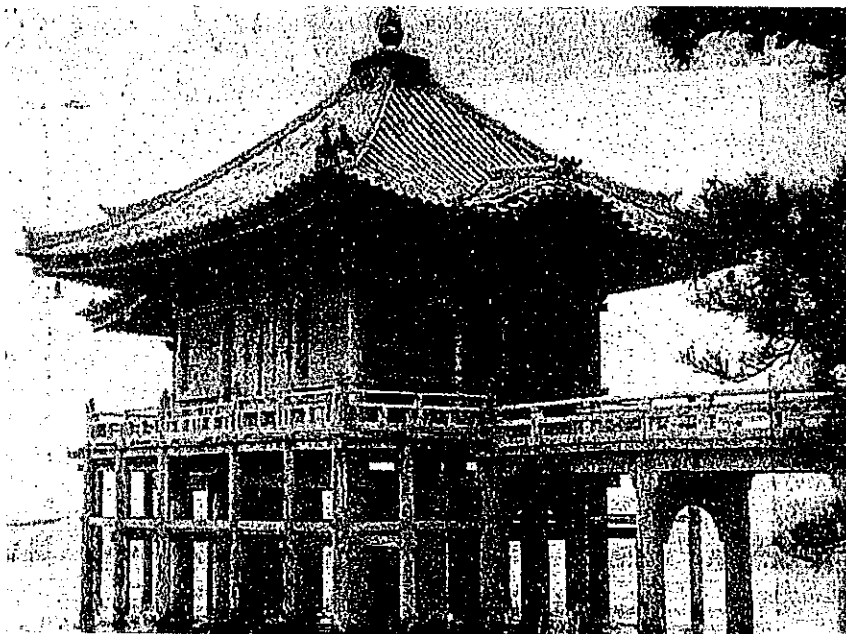
涼しくなると人里へ下りてきて、夕方になると群をつくって飛び回ったり、電線にたくさん止まっている姿が見られますが、今年はどうでしょうか。  
やがて雌の産卵が近づくと、雄の体は赤くなりま

す(赤トンボ)。  
層の上では九月半ばなのに、夏の猛暑はまだまだ去らず連日三十度を超す大番狂わせ。  
ツバメは南の国へ旅立ちを忘れ、夏アカネ・秋アカネは、山の木陰に体を休めています。

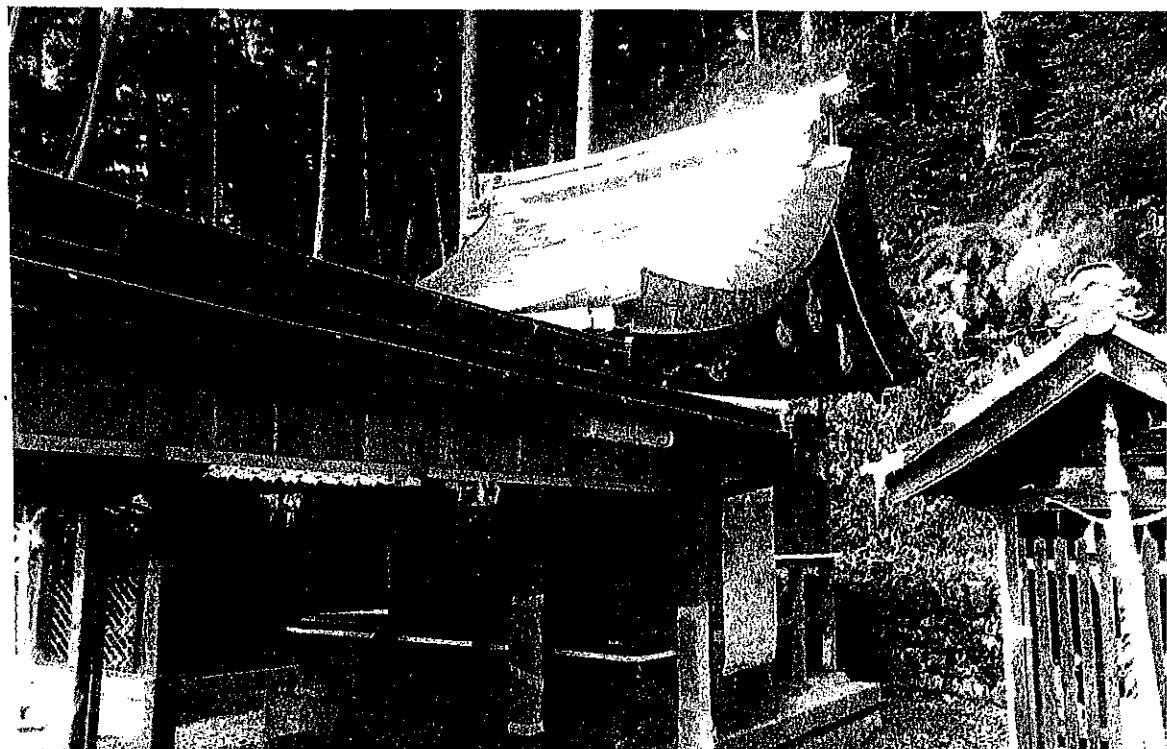
早く大きくなってきれいなきれいな花を咲かせてね。  
皆みんな待っているよ。  
入道雲さん、さようなら。うろこ雲さん、すじ雲さんが待っているよ。まっているよ。

異常気象、秋はいつくるのか?!

山本文良



▲ 浮御堂



# 箭筈神社 本殿竣工

谷口清茂

いつもお宮さんへ お参りの方々から「本殿の屋根がこわれているらしい」とうわさが立ちはじめたのは五月ごろだったかな。

突然、回覧版を通じ大修理と予算、奉賛金の予告。氏子一同びっくりしたのも事実です。

今思えば、役員の皆さんも大変

村の鎮守の神様の

今日はめでたい

竣工式

どんどんヒヤラ

どんヒヤラ

どんどんヒヤラ

どんヒヤラ

朝から聞こえる

笛太鼓



だったんだらうなあ。いやいや立派に竣工していただいてご苦労様でした。ありがとうございます。心からお礼申し上げます。

しかし、世の中は、自転車から軽トラ・マイカーの時代、里や山の立木は伸び放題太り放題。

梅雨がすんでも今度は台風シーズン。土手崩れ山崩れ倒木の恐れは絶対起こらないとは決して言えません。災害は忘れた頃に來るところか目の前に迫っていませんか。

## ひとり言

長い長い猛暑の夏の中、九十八歳の誕生日を無事に迎えましたが、体はくたくた、頭も蝉の抜けがら。

こんな年は初めての経験。生きていくことが不思議なくらいです。

故郷新聞「たなかみ山」もう二回はどうしても発刊したい。それまで頑張れるかな、いや頑張らなくちゃ。

## お詫び

長い間休刊ご免なさい。心からお詫び申し上げます。

民具クラブ代表 山本文良

電話 〇七七・五四九・〇〇七七